

発行所

発行者

第 88 号

大阪市史跡
龍溪禪師墓所

靈龜山

九島院

〒550-0022 大阪市西区本町3丁目4番18号

TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

第廿六代住職

奥田穂積(明勝)

さようなら 樹木希林さん！

△ 難の多い人生はありがたい！ △

TVドラマ「寺内寛太郎一家」の「きん」おばあさんや、富士写真フィルムのCMでお茶の間の人気者だった女優の樹木希林（本名内田啓子）さんが九月十五日に全身ガンのため亡くなりました。

「万引き家族」をはじめ多くの映画に出演され、高い演技力と独特的のユーモアで親しまれました。夫のロックミュージシャン内田裕也氏との43年にわたる別居生活、網膜剥離で左目を失明、乳がんが転移し5年前に全身ガンを公表。その後も変わらぬ姿もなく、テレビや映画で元気な姿を私たちに見せてくれました。
・・・
「不登校新聞」のインタビューで、樹木さんはお釈迦さまの話をされています。

ダイバダッタという、師の教えに背き命までも狙う弟子がいた。困り果てたお釈迦さまは、ある日気づく。ダイバダッタは

自分が悟りを得るために難をあたえてくれる存在なのだと。また、ありがたいを漢字で書くと「有難い」、難が有ると書く。人がなぜ生まれたかといえば、いろんな難を受けながら成熟していくためなんじやないだろうかと。

樹木さんにとっては夫の内田裕也氏はそんな「有難い」存在でした。左目の失明や全身に転移したがんも、自分を成熟に導いてくれる難とどうえられたのです。

そういう難の多い人生も卑屈になるのではなく、受けとめ方を変え、自分にとつて不本意なことをしてくれる具体的な存在を師、先生と受けとめることで、変わった様子もなく生き抜かれたのです。

英語の「逆境は人を賢くする」を意訳すれば、「艱難汝を玉にする」となりますが、歯を食いしばつて逆境に耐えているようで、押しつけがましい感じがします。その点樹木さんは「自然体」で何事も過ごされました。自分の病気も、無理して元気そうに見せていました。



女優 樹木希林さん

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

九条十五景シリーズ

『九条新道』と『暴風水害記念碑』

③景『九条新道』

この新道を中心に入れを集めため、湯屋を数軒建てるなどの努力の結果、本田の商店や工場などが日を追つて九条に集まり、戦前には「九条は西の心斎橋」と言われた。

(大意)
商都浪速九條邊
街路蕭条愁莫限
滄桑世變七旬年

明治二十年頃より、梅谷清吉をはじめ九条在住の有志らが相談し、地区の発展を期して現在の九条新道の開通を計画。同三十年に茨住吉神社より西へ、安治川を越え西九条に通じる道を開いた。それまでは本田と九条との境である旧称九条北道が、東西通りの幹線道、中心地でもあつたので中道と呼ばれていた。これに対しても新道と呼ばれたのである。



戦前の九条新道

商店が軒を並べ、九条新道の名は広く世間に伝わっている。(今は)商店街の街路には人出もなく寂しいかぎり世の移り変わりが激しい(滄桑世變)、戦後商店街復興以来このかた七十年である。

（大意）
新道（一番道路）に続き、中通（二番道路）、南通（三番道路）も開道された。この新道の東端の茨住吉神社の内外には劇場（芝居小屋）二軒、活動写真（映画館）四軒、寄席三軒が建ち、松島遊廓とともに昼夜賑わいを見せ西大阪随一の歓楽街となつた。

なお西区の東部は堀が人々の生活を支えたが、西部は井路（用水路）がそれにあたる。しかし、江戸時代以来多数掘られた井路も、明治三十年以降、次々に埋め立てられてしまつた。九条西部の空襲で燃え残った街区内には、一方通行の狭い道があるが、これが井路の跡である。

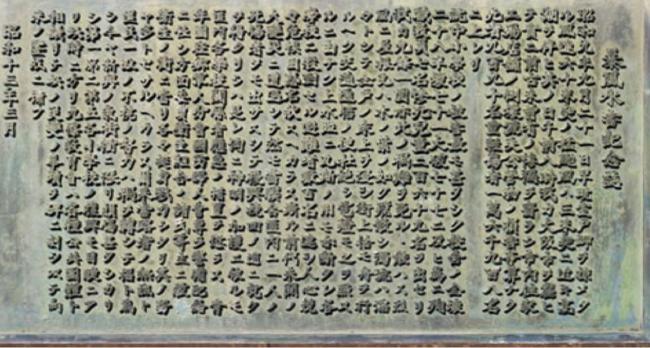
空前絶後襲颱風 不厭犠牲助學童 訓導殉難皆涕淚 莫忘鑒戒刻青銅

④景『暴風水害記念碑』

この台風は昭和九年九月二十一日早晩に大阪市に襲来し大被害をもたらした『室戸台風』のことで、ことに市内の小学校の被害が甚大で、身を挺して児童を助けた悲話が各地に伝わっており、これを契機に、大阪城大手前広場の一角に『教育の塔』が昭和十一年に帝国教育会によって建てられた。現在でも、教育に関する殉職者・殉難者の慰靈の『教育祭』が毎年十月三十日に日教組主催で文部省ほか教育関係者が集まり執り行われる。

(大意)
空前絶後の台風が襲つた。自らの犠牲も厭わず（身を挺して）学童を助けた。訓導（先生）の殉難に皆涙を流した。忘れてはいけない。人々への鑒戒（いましめ）とするため青銅板に刻む。

九条東小学校校門前に『暴風水害記念碑』が昭和十三年に建てられている。現在は正門左横壁に4枚の記念碑の青銅板が貼られている。



暴風水害記念碑

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

お知らせ

25代 啓知和尚 退任式
26代 穂積和尚 晋山式

平成5年10月31日に晋山式を挙行し、寺門興隆を果たしてきた
25代住職啓知和尚の退任式と、
26代住職穂積和尚の晋山式を
2019年11月10日(日)

に行うこととなりました。

退任式とは、現住職が住職から引退し、閑栖和尚になるけじめの式。晋山式は、新たに寺院の住職に就くけじめの式です。僧侶にとつて一生に一度の儀式。お寺にとつても、25年ぶりに厳修される式です。お檀家の皆様には改めてご案内をお送りしますので、お時間許されます方は、どうぞお参りくださいますようお願ひ申し上げます。



第23回

修養会

檀信徒の皆さんへ



開催日
天気
くもり
11月4日(日)

曇りではありましたが、滋賀県栗東市にあります黄檗宗寺院 萬年寺さんへ拝塔。その後、近江八幡市へ移動し昼食に近江牛を堪能。市内を自由散策し、帰途、鮎家の郷にてゆっくりお買い物。のんびりと秋の近江八幡を満喫できたのではないかでしょうか。お檀家さん同士、もしくはそのお友達同士の親睦を深める事が出来て、大変嬉しく思っています。このような行事を今後も企画をしたいと考えております。

(住職)

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一直線！

行事報告

はじめての坐禅 (7回目)
参加者4名

水灯会(お施餓鬼法要)
参加者50名

地蔵盆子ども会 (9回目)
参加者90名

大龜地蔵尊 地蔵盆回向
台風で中止

8/23
8/22
8/19
6/2

8/23
8/22
8/19
6/2

8/23
8/22
8/19
6/2

8/23
8/22
8/19
6/2

行事予定

10/28
9/29
8/23
8/22
8/19
6/2

3/30
3/23
12/31
9/19
春の写経会(18回目)



新築工事..11月~平成31年4月末日

当初の予定よりもかなり遅れており、
ますが、10月31日に地鎮祭も終わり、
工事期間中は、近隣のお墓付近に足場
を組むことになります。なお、墓参者
用のトイレは、龍灯会館内のトイレを
をおかけしますが、ご理解の程宜しく
お願い致します。

平成31年 年忌早見表

年 忌 早 見 表

年忌	寂年	年忌	寂年
1周忌	平成30年	17回忌	平成15年
3回忌	平成29年	25回忌	平成7年
7回忌	平成25年	33回忌	昭和62年
13回忌	平成19年	50回忌	昭和45年

新庫裡建築報告

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

むしの知らせ

「むしの知らせ」とは、広辞苑では「何の根拠もないが、何となくそのような気がすること。予感がすること」だそうです。初の米朝首脳会談の日、実母と家内と私の三人で三田に向かっていました。兵庫県立『人と自然の博物館』が目的地です。実父稻原延夫が残した世界的にも貴重なクワガタムシのコレクションが展示されていたからです。

父は、昭和 60 年 1 月 17 日に、肺の偏平上皮癌で他界しました。享年 60 歳でした。生前、会社勤めの傍らクワガタムシ研究家として世界的にも有名で、そのコレクションは『エレガンスイナハラ』と学名をつけたトカラクワガタの新種をはじめ、全世界の同種の 7 割強（1100 種余のうち 820 種）を集めた標本は、世界一のプライベートコレクションでした。

父はこのコレクションを継がせ昆虫学者にする夢を三人の息子に託しましたが、残念ながら三人ともそれぞれ別の世界に進み、夢を果たすことなく亡くなりました。

遺された膨大な標本は、長男の働きで某生命保険会社の創立百周年事業で建てられる児童館の目玉として購入して頂きました。父は生前退職後、そのコレクションを図鑑にし、未発表の新種に学名を付ける夢をもっていましたが、違う畑に生きた息子たちにとっては、それが一番ベストな選択でした。その後バブル経済が破綻し児童館も陽の目を見ず、いつしか父のコレクションが我々三人の心のトゲとなっていました。

それが小生の次女が結婚し、二年前に三田市に住むことになり、偶然に祖父のコレクションがその博物館に所蔵展示されていることが判ったのです。

昨年、某生命保険会社から一括寄贈された博物館がコレクションの整理作業をはじめ、子供のために作った標本箱を見つけて、是非とも遺族に連絡をしたいと探しておられたそうで、来訪した我々三人に、担当学芸員山内健生氏が発した一言が「むしの知らせ」でした。因みに昨年は父延夫の三十三回忌法要の年でした。



お知らせ ◎のぼり奉納の募集◎ 1 旗 金 2 千 円

『南無觀世音菩薩のぼり』を入れ替えます。
1 年間境内に掲げます。昨年同様、お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。
ご希望の方は、寺務所までお声かけ下さい。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

奉納便り

○金百廿萬余円志納（平成 30 年 10 月）河合マサ子様

☆袈裟・座具・帽子・紫衣一式新調の為、ご喜捨いたしました。九島院伝衣として大事に次々代の住職に伝えていきます。

編集後記

▼不覚にも、今夏 7 月 27 日川柳の句会に自転車で行く際に転倒。顔面を強打しました。幸い頭部に外傷もなく痺れその他異状もないの

▼暫く様子を見ましたが、経過観察しても、症状が改善せず血腫が大きくなり大脳左側の皺が見えないほどになりました。9 月 6 日緊急手術し 1 週間入院生活をおくりました。

▼退院時には完治と思いきや、経過観察の日々に入りました。当然、酒・サウナも禁止の生活、自分にとつて日常の楽しみ二つが禁止された生活をおくるています。

▼息子が 11 月 19 日付で、沙弥という僧侶資格を取得しました。来夏に度慶の予定です。（住職記す）

▼盆の棚経も一段落した 8 月 15 日に念のため、境川の多根病院脳外科で CT撮影したところ、硬膜下血腫が見つかりました。おそらく転倒のはずみで脳が強く振動して罹病したものだとのこと。

▼おかげ？で、肝臓のアルコール数値が半減しました。樹木さんがいうように、転倒負傷を奇貨として、幸福な病人になろうと思つています。自転車事故にお気をつけて下さい。▽あつという間に今年も終わりを迎えます。後厄もあと少しで終わります。

▽龍灯 87 号にも記載のように 9 月 10 日付で本山より住職就任通知が届きました。まだまだ実感はありません。今は、来年に実施する晋山式の準備や新庫裡建築事業で日々奔走しております。

▽浅学菲才の身ではございますが、檀信徒の皆様、どうぞよろしくお願い致します。